項番	(あ) 諮問受理番号	(い) 諮問	(う) 請求日	(え) 請求する公文書の件名又は内容	(お) 担当	(か) 補正依頼	(き) 補正依頼に対する回答	(く) 決定	(け) 却下する理由	(こ) 異議申立て年月日	(さ) 異議申立ての趣旨及び理由
1	平成24年度 諮問受理第128号	平成24年11月20日 付け大政第e-197号	平成24年9月23日	ポツダム宣言及びサンフランシスコ 平和講和条約を不知の証拠。公式用 語は、特別永住権。(法務省) 特別永住者は、上記条約基づく策＝ 特例法(官報号外第135号)特別永 住と一般永住を区別を大阪市は、 「新渡日」作成(公式ホームページ 表示)	政策企画室公開制 度等担当	平成24年10月3日 付け大政第e-152号	補正に応じない	平成24年10月15日 付け大政第e-159号 公開請求却下 決定	公開請求書に記載された公文書の件 名又は内容から公開請求に係る公文 書の特定を行うことができないた め、請求者に対して補正依頼を行 い、文書を特定するよう求めたが、 平成24年10月9日付けで請求者から 補正に応じない旨の回答があったた め。	平成24年10月17日	処分の取り消しを求める。見聞広げ、市内情報収集欠くのは、 過去交付する答申(公正職務担当の件)を逸脱している。 (共存性欠く) 補正の有・無以前の問題。①国連10年国内行動計画(1997年) →2007年大阪市人権推進審議会答申へ引き継ぎ、人権ナビ冊 子化へ至る。1995年国連10年行動計画実施を日本国引き継 ぐ。①
2	平成24年度 諮問受理第141号	平成24年12月5日 付け大生保生第 978号	平成24年10月13日	通知書A(〇〇の区別化)→大生総 第106号調査資料は真っ暗に有り、 不透明。但し、大健福第6054号供述 とは異なる通知書記述判明してい る。大生保生第825号も異なる。	生野区役所保健福 祉課(生活支援)	平成24年10月25日 付け大生保生第 764号	補正に応じない	平成24年11月1日 付け大生保生第 823号 公開請求 却下決定	「公開請求書に記載された公文書の 件名又は内容」欄の記載内容が不明 瞭なため、公文書を特定することが できないことから、請求者に対して 補正通知を行い、公文書を特定する よう求めたが、平成24年10月30日 に請求者から補正に応じない旨の意 思表示があったため。	平成24年11月5日	処分の取り消しを求める。謝罪内容と通知書Aの相違示し た。特定されている。(表示とうり) 応じないのが、「却下理由」なら、補正依頼故意とし、又、 却下目的。(補正強要行為に有る)
3	平成24年度 諮問受理第149号	平成24年12月17日 付け大生保生第 1026号	平成24年10月22日	①大生保生第321号-3=個人情報 保護条例第6・13条 ②大生保生第 825号-3-2 個人情報保護条例 第6条3項 ③他法他施策の活用が 条例免責の規定=当局・当区答弁有 ※大健福第1916・1918号イ「本人の 事情聴取」規定の為、免責欠く。④ 「診療状況照会書」発行前での当局 は、「本人の事情聴取」欠く区を是 とする。⑤「不同意」とは、本人確 認不要に元々有。⑥現に本人確認欠 く。※「本人の事情聴取」○「本人 からの収集」○「本人確認」=○ 「事実確認」⑦本人への事実確認 免責規定(当区実施) ⑧レセプト 受理を3ヶ月後なら、時間差意図 可。⑨不同意発行との要約する為、 歪曲化	生野区役所保健福 祉課(生活支援)	平成24年11月1日 付け大生保生第 807号	補正に応じる 「診療状況照会書」は、非合法書 面。 大健福第6151号より、法令通知「社 援第2700号」特定され、作成根拠に 有る。法令上は、レセプト点検基 づく。寄って、レセプト「不存在」の 上、医療要否意見書を照会する法令 欠く。 又、第12章除外する「神経症」は、 他法活用除外の為、未診の上での 6・7貼り付け照会は、違法行為。 挙げ句に、法第50条「行政指導」 (2項)実施は、法律違反。	平成24年11月8日 付け大生保生第 867号 公開請求 却下決定	「公開請求書に記載された公文書の 件名又は内容」欄の記載内容が不明 瞭なため、公文書を特定することが できないことから、請求者に対して 補正通知を行い、公文書を特定する よう求め、平成24年11月7日に補 正依頼に対する回答書が提出された が、回答書に記載された内容では公 開請求に係る公文書を特定すること ができないため。	平成24年11月15日	処分の取り消しを求める。補正拒否の理由以前の問題意識欠 くのは、「正常化」指導(局)矛盾 そもそも、当区答弁に有るのを引用。又、請求趣旨十分認知 している。事実、本人確認無く発行(略) 采配至るのを法第 50条2項にて可とか。
4	平成24年度 諮問受理第184号	平成25年1月4日 付け大生保生第 1090号	平成24年10月12日	大情審答申第318号は、市民の声回 答(時系例先分)と後分答申上記 は、説明相違の理由。※フロート チャートは、決定規定	生野区役所保健福 祉課(生活支援)	平成24年10月18日 付け大生保生第 724号	補正依頼に対する回答なし	平成24年11月19日 付け大生保生第 899号 公開請求 却下決定	「公開請求書に記載された公文書の 件名又は内容」欄の記載内容が不明 瞭なため、公文書を特定することが できないことから、請求者に対して 補正依頼を行い、公文書を特定する よう求めたが、回答期限(11月9日) までに補正依頼に対する回答書 の提出がなかったため、補正に応じ ない旨の意思であると判断したた め。	平成24年12月3日	処分の取り消しを求める。(補正の趣旨矛盾、克、公開請求 は、資料有・無の為、有るか無いかの決定のみ) 市民の声回答は、当区保有文書。又、公開請求書に添付して いる。寄って、特定されていないが却下している。又、原課 仕分けされた(事務局采配)
5	平成24年度 諮問受理第185号	平成25年1月4日 付け大生保生第 1093号	平成24年11月8日	大福祉第2711号は、明示とうり、 (2)法第25条2項欠く。大生保生第 825号他、当区「理由説明書」の法 第25条2項引用現す、通知上の点 (大生保生第600号「不存在」)大 生保生第248号「同意書」規定→答 申第316号→決定書④(大生保生第 428号)※請求と決定書が、食い違 う	生野区役所保健福 祉課(生活支援)	平成24年11月15日 付け大生保生第 888号	補正依頼に対する回答なし	平成24年11月30日 付け大生保生第 955号 公開請求 却下決定	公開請求書に記載された「請求する 公文書の件名又は内容」欄の記載内 容が不明瞭なため、公文書を特定す ることができないことから、請求者 に対して補正依頼を行い、公文書を 特定するよう求めたが、回答期限 (11月28日)までに補正依頼に対 する回答書の提出がなかったため、 補正に応じない旨の意思であると判断 したため。	平成24年12月3日	処分の取り消しを求める。市民サービス観点欠く。情報公開 (全公開) 当区表明する「法第25条2項」(大生保生第825号)は、不 同意発行規定当たらず、「法第50条2項」指導理由欠く(大 福祉第802号)

(注) 1 (え) 欄、(き) 欄及び(さ) 欄については、原則として異議申立人の記載のとおりとしている。
2 (お) 欄については、(く) 欄に記載の決定時点における担当名としている。